平成28年度施策評価シート

<u> </u>	儿又叫	至小り はれ		(28年吳旭萊								
		コード	名称		担当	コード	名称	連絡先				
	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持	寺てるまちづくり	部署	450400	教育委員会生涯学習 課	0595-22-9679				
	施策	5401	生涯学習活動の推進		評価責何	任者•役職名	教育委員会 教育》	次長 児玉 泰清				
基本情報	再生 の 視点 (何を、 どうす る)	・地区 習や交 ・市民	学習推進大綱を指針とし、生涯学習の終公民館からの情報発信を充実させるとと流の場としてネットワーク機能を充実さへの学習啓発と推進体制の充実に努め中間層にある世代に配慮した活動環境	さもに、生涯学習センタ せ、市民が参加しやすい 、地域・家庭の教育カ	ーを公民食 ハ体制を整	官の生涯学習活 とえます。						
	施策 の 方向		習セミナーなど各種の講座、学習会を 閉 意識を高めます。	昇催し、多様な学習機会	€の提供に	・努め、地域・家	庭の教育力の向上を図ると	とともに、生涯学習活				
市民意	_	0%		指標 ◆H26 成		習セミナー内? 「の満足度(%						
市民意識調査結果	足 度 ²⁰	0% -		■H27 果 指 標 の	満足度が上がることにより、受講者数が増加す		40%	 目標 実績				
結果	'	40%	50% 60% 70% 80% 90% 必要度	説明	る。 28目標	58.0	0% 	7H28				
			 平成26年度		27年度	38.0	I					
改善・取組方向	前度取内と	内めりが式要とい題す成別実新少典が市のまで。長連すあ	ずつ定着しつつありますが、地域で祝うして地域住民への参画を働きかける必ります。 、への学習啓発のため、大学等の機関 携により生涯学習セミナーを開催してが、参加者数が非常に少ないのが課り、周知方法と内容の検証が必要で	生涯学習セミナーを、 啓発及び市民ニーズに か、計画していた受講でした。 【成人式開催経費】 新成人の、式開作経費 するためですます。 【栄楽館維持管理としている。 【栄楽館学習では、 生涯学の市街ののについて検討する必要	事業無素年5合のした一まのは一まのしたととでたきまた	としましたが、なかったのができませんができませんることを自覚ない。 は、主体題があり、立地には、 たが、して活いた。 たかが、して活いた。	透してきましたが、新成 運営をめざす実行委員があります。 【栄楽館維持管理経費】 生涯学習施設として運 地条件から中心市街地 して活用について検討です。	業】 と伊賀」を統一テー と伊賀」を統一テー を のののでで、で、の関連をは、ののががありませる。 としましたが、のは、のででは、のががありませる。 というでは、これができる。 これができる。 というでは、これができる。 というでは、これができる。 というでは、これができる。 というでは、これができる。 これができる。 こ				
組方向		ンター? 豊かな	に応えられるよう事業内容を検証して	【生涯学コークのしまます。 生涯学コークのしまます。 東と伊賀」を設続して 東と伊行い、継続は 、成がのが一点して 、成がのが、は、 、がに努め、は、 のが一点して 、大人人、継続は 、大人人、 、一次である。 、一、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	たテーマ「 開催曜日、 特に関係する を 対に開催する を はおいが創まる。	啓発内容の検ます。 る体制づくり 出できる施設 数回の協議を	【生涯学習推進啓発事業*引き続き市民二一次生涯学習指進啓発本でに、生涯学習活動の対象を表現の表現が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	こあったテーマを設 推進を図ります。 川に開催できる体制 地域組織の参画を しき、中心市街地の				

(続紙) 施策 | 5401 | 生涯学習活動の推進 (千円)

ヘルシロ	26 27 20								(千円)	
	No	26 重 点	27 重 点	28 重 点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方 向	H28 予算
	01	1	2	1	成人式開催経費(01-10-05- 01-430-01)	成人式式典を開催し、新成人を祝い激励する。	2,286	1,853	1	1,458
	02	3	3		社会教育推進経費(01-10- 05-01-430-51)	社会教育法第15条に定める社会教育委員を委嘱し、生涯学習の 各種事業への助言を受ける。	3,951	3,702	1	5,309
	03	2	1	3	生涯学習推進啓発事業(01- 10-05-01-431-51)	市民の学習意欲に応えることによって、自己実現の一助とする。また、大学等の機関との連携により学習の機会提供を図る。	634	600	1	562
	04				栄楽館維持管理経費(01- 10-05-01-432-56)	生涯学習施設「栄楽館」の指定管理、修繕を行う。	5,955	5,770	1	5,870
構成事										
務事										
構成事務事業の重点化										
点化										
					構成	战事務事業 合計 	12,826	11,925		13,199

	第1次再生計画 期間全体を総括 して	生涯学習推進大綱に基づき、生涯学習センターを拠点に市民が生きがいをもって活き活きと活躍できるよう、市民のニーズにあわせ、セミナーや講演会等開催し、学習意欲の定着を図ってきました。	
総括	第2次再生計画 (仮称)への課 題、対応につい て	28年度は生涯学習推進大綱の最終年度となるため、これまでの事業の成果をしっかりと検証しながら、子どもから大人 まで幅広く学習できる環境を整えていきます。	

足 度 ^{20%}

10%

0%

40%

50%

慢	先度 🖟	迷続取	<u>図組</u> 平成28年度施策	評価	シート		
		コード	名称	担当	コード	名称	連絡先
	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	部署	4511/1111	教育委員会上野図書 館	0595-21-6868
	施策	5402	だれもが利用しやすい図書館の充実	評価責何	壬者•役職名	教育委員会 教育次	長 児玉 泰清
基本情報	再生 の 視点 (何を、 どう る)	たな図 ・ 貴重 ・ 公業 談業務	の人口規模や既存の公民館図書室に考慮し、すべての人が利書館の整備を行います。 書館の整備を行います。 な歴史的郷土資料は今後も集積し、デジタル化して原資料を保 館図書室を上野図書館の分館と位置づけ、身近な図書室で図 添充実させます。 の一括委託など効率化に努めます。	存しなが	ら、郷土学習へ	の活用と次世代への継承を図	図ります。
	施策 の 方向	どの世	代の市民もこれからの地域のありようを市民自らが決定するた。	め、判断ね	材料となる情報	・資料の拠点づくりを推進しま	ंす。
市民意識	4 満3 足	0% 0% 0%	◆H26 成 ^名		出冊数(冊)	100% 80% 60%	◆ - 目標

必要度 H28目標 300.000 平成26年度 平成27年度 平成28年度

標

の

説

明

均-

H27

▲ H28

蔵書を増やし、市全域に

スを行い図書館を利用し

やすくすることで貸出冊

数が増加する。

-化した図書サービ

40%

20%

0%

・公民館図書室を上野図書館の分館と位置づ け、システム連携や配送サービスを実施しま した。身近な図書室で同様のサービスが受け られることを市民にもっと発信して、図書館・図 書室の利用促進を図っていく必要がありま す。また、図書館サービスの内容の充実に取 前年 り組む必要があります。 度の 計画検討委員会から答申を受け教育委員会 取組

60%

(平成25年度の取組内容と残された課題)

70%

80%

90%

新図書館基本計画について、新図書館建設 として検討しました。

図書館は、赤ちゃんから高齢者まで誰もが

無料で利用でき、本と人をつなぐ司書がレファ

レンス(調べもの)するなど子どもの成長を支

え、暮らしに役立つ施設です。多くの情報・資

す。このことをいろんな媒体を通じ発信し、利

・新たな図書館は、利便性と合理性を重視し

た施設構成とし、図書館機能を発揮するよう、

市の施設整備計画としてさらに検討します。

用促進に取り組みます。

(平成26年度の取組内容と残された課題) 【図書館管理経費】・図書館(室)業務の一括 委託は調整できましたが、利便性の向上、賑 わいの創出のため、上野図書館の開館時間 の延長を行う必要があります。図書の回転率 を上げ、配送件数を伸ばすため、各図書館 (室)が特色ある取り組みをし、認知度を高 め、利用者増を図る必要があります.

・図書館(室)への理解と啓発活動の充実を図 るため、ホームページの開設を行いました。

・図書館(室)は、学校教育を援助し、家庭教育 の向上に資するよう努めなければなりません。 図書館(室)の活用促進は、地域の教育力を 向上させるため、施設整備は必要です。図書 館は、交流・憩いの空間(場)、賑わいの創出 に寄与できる施設として、方向性を示す必要 があります。

【図書室運営管理経費】・分館図書室を上野 図書館の分館と位置づけ、システム連携や配送 ービスを実施しました。身近な図書室で同様 のサービスが受けられることを市民にもっと発信 して、図書館(室)の利用促進を図る必要があ ります。また、図書館サービスの内容の充実に 取り組む必要があります。

【図書館管理経費】

* 市広報やホームページ、ケーブルテレビ等 で情報発信して利用促進を図っていきます

*社会的ニーズや賑わいの創出のため、上 料の拠点であり、親しみやすく心が潤う場所で 野図書館の開館時間の延長を引き続き検討 していきます。

【図書室運営管理経費】

*ミニ展示や特集コーナー等を設けて、一層 の情報発信に努め、分館図書室の利用促進 を図っていきます。

(平成27年度の取組内容と残された課題) ・各図書館(室)が特色ある取り組みを企画 **」、市広報やホームページ、ケーブルテレ** ビ等で情報発信し図書館(室)の利用促進 を図りました。

H25H26H27H28

-実績

・本に親しみ読書活動を充実するため、学 校との連携を図りました。今後も、地域の 教育力の向上と交流・憩いの空間を提供す る場所としての認知度を高めつつ、知の財 産や歴史の宝庫である図書館(室)の役割 や重要性について市民の理解を深めていく 必要があります。

・老朽化、狭隘化が進んだ上野図書館の施 設整備に向け検討を行ってきましたが、市 街地開発も含めたさらなる検討が必要で す。乳幼児期から本に親しめるようさまざま な事業を行っているものの、トイレや専用ス ペースが無いため、子どもを連れて安心し て利用できないという意見も多数寄せられ ています。

【図書館管理経費】

- *図書館(室)と学校の連携の一つとして、 ふるさと応援寄付金で購入した団体貸出文 庫を活用し、各学校へブックトークを実施し ながら子どもたちが本に親しむ環境を醸成 します。
- *図書館(室)の役割や重要性について市 民の理解が深まるよう、図書館を利用した イベントなどを企画し、新しい図書館文化 の構築を図ります。
- * 市広報やホームページ、ケーブルテレビ 等で情報発信して利用促進を図っていきま す。
- *市民の社会的ニーズを反映し、上野図 書館の開館時間を延長、ばらつきがあった 各図書室の開館時間も統一し、利便性を 高めることとします。

【図書室運営管理経費】

*ミニ展示や特集コーナー等を設けて、 層の情報発信に努め、分館図書室の利用 促進を図っていきます。

組方向

改善 ポイ ント لح 具体 的な

取組

内容

لح

残さ

れた

課題

(続紙) 施策 5402 だれもが利用しやすい図書館の充実 **7** (千円)

(19)	(統紙) <u>施東 5402 /にれもか利用しやすい図書館の允美 (</u> :									
	No	26 重 点	27 重 点	28 重 点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方 向	H28 予算
	01	1	1	1	図書館管理経費(01-10-05- 07-447-01)	伊賀市の教育理念である「一人ひとりが輝く」ために、市民にとって生涯学習の拠点となり利用しやすい新たな図書館を整備する。	80,226	77,911	\rightarrow	80,266
	02	2	2	2	図書室運営管理経費(01- 10-05-07-910-01)	図書館情報システムの連携や配送サービスにより、身近な図書室で市内全域の図書館・図書室のサービス展開を行う。	3,709	3,670	1	4,035
	03			3	図書館事業推進経費(01- 10-05-07-679-01)	子どもたちの郷土を愛する心をはぐくみ、地域づくりにつなげるふるさと教育のためのブックトーク事業を実施する。	0	0	新規	500
構成事										
務事										
構成事務事業の重点化										
点化										
					構反	戈事務事業 合計	83,935	81,581		84,801

して

蔵書が飽和状態であり、老朽化・狭隘化が進んだ上野図書館の施設整備に向け検討を行ってきましたが、交流・憩い 第1次再生計画 の空間(場)、賑わいの創出に寄与できる施設として、市街地再開発も含めた方向性を示すに至っていません。 期間全体を総括しかし、公民館図書室を上野図書館の分館と位置づけ、身近な図書室で図書館と同様のサービスを受けられるようシ ステム連携や配送サービス、相談業務を充実させることにより、限られた空間と蔵書を最大限に利用して、利用者の 一ズに応えられるような事業展開を行うことができました。

第2次再生計画 題、対応につい て

市街地再開発事業と連携し、老朽化・狭隘化が進んだ上野図書館の施設整備を早急に進めていく必要があります。ま た、変化する多様な市民ニーズを的確に捉え、図書資料を充実させるとともに、さらなる情報提供に努めつつ、大人も (仮称)への課 子どもも本に親しむきっかけづくりの事業等を定期的に実施し、図書館利用の促進を図ります。

優	先度 🌣	力果核	 討 平成	28年度施策	評価	シート		
		コード	 名称		+0.17	コード	名称	連絡先
	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持	こるまちづくり	担当部署	450400	教育委員会生涯学習 課	0595-22-9679
	施策	5403	子どもの読書活動を推進するた	めの体制づくり	評価責任	任者•役職名	教育委員会 教育次	ス長 児玉 泰清
基本情報	再生 の 視点 (何を、 どうす る)	・ボラン	もたちの成長に応じた読書習慣の定着を レティアの協力を得ての読み聞かせの実 を含め図書館の資料の充実を図り、新鮮	施や読書に親しむ環境	竟づくりを彳	テうとともに、学		
			・上野図書館・図書館分館、学校等のそれ ら進んで読書に親しめるよう取り組みます		、また、そ	れらが連携し合	うことで、子どもが自然に本	に親しむ環境を整
市民意	40	0% 0% 0%		指標 *H26 成	児童書 <i>0</i> (冊)	D貸出回数	100% 80% 60%	<u></u>
市民意識調査結果	足 度 ²⁰	0% 0%		■H27 果 指標の	えること	いせの回数が増 こより、児童図 出冊数が増え	40%	 目標 実績
結果	(0% └ 40%	5 50% 60% 70% 80% 90% 必要度	説 明	る。	110,000	0% + H25H26H2	7H28
			平成26年度		27年度		平成28年	<u>∓</u> 度
改善・取組方向		「基の会進ま」でなむす。	次伊賀市子ども読書活動推進計画」に、学校、地域、家庭等と連携し、自ら進書に親しめるよう、読み聞かせやお話の取り組みを進めていますが、年齢がつれて読書時間、読書量が減少してい	(平成26年度の取組内 *「第二次伊賀市子ど *「第二次学校、地 に基づき、学校、 とので読書に親しめる を さいでは でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	も読をいます。	動推進計画」 :連携し、や ・間ますが、 ま量が減少しして	(平成27年度の取組内容 【子ども読書活動推進事 *読み聞かせやお話会 進めていますが、年齢か 書時間、読書量が減少し *子どもの読書離れが、 懸念があります。	業】 などの取り組みを が進むにつれて読 しています。 学力にも影響する
組方向	改ポンと具的取善イトと体な組	に親し	む環境を整え、子どもが自ら進んで読 しむよう取り組みを図っていきます。	*家庭、図書館、学校に親しむ環境を整え、書に親しむ環境を整え、書に親しむよう取り組。 *「第二次伊賀市子とは、平成255年度から³間としているが、「していもがしているが、していが	子どもが自 みを図って も読書活 平成29年 【市生涯学	iら進んで読 いきます。 動推進計画」 度までの5年 習推進大綱」	【子ども読書活動推進事 *家庭、図書館(図書室 することで、本に親しむまが自ら進んで読書に親し 図ります。 *「第二次伊賀市子ども 画」は、平成25年度から の5年間としていますが を図り「再生計画」にまと 行っていきます。)、学校等が連携 環境を整え、子ども むよう取り組みを 読書活動推進計 平成29年度まで 、他事行との連携

(続紙	続紙) 施策 5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり (千F						(千円)		
No	26 重 点	27 重 点	28 重 点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方 向	H28 予算
構成事務事業の重点化									
·務 事									
莱 の 重 —									
点 化 									
				構成	艾事務事業 合計	0	0		0

子どもたちの成長に応じた読書習慣の定着を図るため、「伊賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・学校・地 第1次再生計画 期間全体を総括 して 間 部 第2次再生計画 (仮称)への課 題、対応につい て

平成28年度施策評価シート

麦	元 皮 🕅	△ 下元 月〉	平月 平月	28年度施策	を 計価	ソート					
		コード	 		+0.17	コード	名称	連絡先			
	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が打	寺てるまちづくり	担当部署	450400	教育委員会生涯学習 課	0595-22-9679			
	施策	5404	青少年健全育成を推進するたと	かの体制づくり	評価責任	任者•役職名	教育委員会 教育次	長 児玉 泰清			
基本情報	再生 の 視点 (何を、 どうす る)	· 家庭 · 子育	における教育力を向上させるため、養育学校・地域・企業・市が連携し、次代をてや子どもの健全育成の指針となる「類に、青少年の非行防止活動や社会環境	担うすべての子どもの 『け!いがっ子憲章』や	幸せと健や 家庭、地域	かな成長を図 域、学校、企業、	ります。 市それぞれの行動計画を広ぐ	〈市民に啓発しま			
	施策 の 方向		担う子ども・若者は、自他ともにかけが; 取り組みを支援するとともに、青少年の					した青少年の健全			
市民意識	40 満 30	0% 0% 0%		標 ◆ H26 成		情少年育成市 会議推進大会 故(人)	80%	/ — ——目標			
市民意識調査結果	10	0% 0% 0% 40%		H27 ♣ H28 ♣ H28 標 の 説 明	推進大会を示す	≑参加者の増減	40% 20% 0% H25 H26 H27 I				
木			<u>必要度</u>	H	28目標	300		-			
			平成26年度		27年度		平成28年度				
改善・取組方向	前年度の取組	・一る援的・・室児化情少化がし事が変更がある。	5年度の取組内容と残された課題) E健全育成事業については、伊賀市の した青少年育成団体として活動ができ にはますが、運営において団体の自主 務局体制に見直す必要があります。 の協力により現在7つの放課後子ども教 営されていますが、次年度から放課後子ども教 ラブと放課後子ども教室の運営が一体 よ連携したしくみとなるため、地域の実 じた適切な体制づくりが必要です。	の解消を図るとともに体(組織)に対しての3 【放課後子ども教室推 多様な体験や活動が も総合プラン」に基づ3 連携し、すべての児童 の居場所づくりを行い	とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	援がです。 見運 はた。 可体にた。 でかました。 でかました。 かいに、 かいに、 かいに、 かいに、 かいに、 かいに、 かいに、 かいに、	(平成27年度の取組内容。 【青少年健全育成成事団体に 、青少年健全育成の団体に はた事業を行うように体に 域における個々の団体制に 、まずの年健全育成に有が 、本では、本では 、本では 、本では 、本では 、本では 、本では 、本では	でいては、統一 て来ましたが、地 ついては、一部を こは至っていない 値的な団体(組織) の構築を行いま ながあります。 「業】			
組方向		改善で す。 ・一体型 クラブ	きるよう関係団体と協議をしていきま 型または連携して実施する放課後児童 放課後子ども教室の新たな取り組み ては、地域への説明と理解を求めてい	【青少年健全育成本等情報を開発を表現を表現を表現を表現を表現である。 【	情報 接報 推す 事を 「推 な で で で で で で で で で で で で で	行い、 健全 の は ま 子 で で を き き う で で 後 も き き き で で き き き き き き き き き き き き き き	【青少年健全育成事業】 *青少年健全育成国体に での団体が自主運ます。 *青少年健全育成活動の 体の組織体制の充実ため (コーディネーター役)の構ます。 【放課後子ども教室推進ます。 【放課後子ども教室推進まり 後児童クラブと一層の連携	る体制づくりの指 か広がりと活動団 の地域の指導者 禁薬を行っていき 事業】 シ」に基づき放課			

(続紙) 施策 5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり (千円)

								(千円)	
Ν	o 重 点	重	重	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方 向	H28 予算
0	1 1	1	1	青少年健全育成事業(01- 10-05-04-441-51)	家庭・学校・地域が一体となって、青少年の安全確保と健全育成のための環境づくりを促進する。 地域の青少年健全育成団体の活動を支援する。	3,724	3,606	1	3,054
0	2 2	2	2	放課後子ども教室推進事業 (01-10-05-04-441-52)	放課後に学校の空き教室等を利用して、子どもの居場所を提供する。	5,569	4,265	1	4,111
0	3 3	3	3	青少年センター運営経費 (01-10-05-04-442-01)	市内の児童生徒や未成年者へ、街頭補導活動や相談活動、環境 浄化活動を行うことによって、青少年の非行や犯罪を防止する。	4,737	4,593	1	4,674
0.	4			地域による土曜日等の教育 支援事業(01-10-05-04- 441-54)	すべての子どもに対する土曜日の教育活動充実のため、地域人材・企業等の協力により体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図る。	1,029	658	1	920
雄		_							
構成事務事業の重点化									
務 事 		<u> </u>							
の 重 一		_							
化									
		-							
		+							
		<u> </u>							
				構6	 	15,059	13,122		12,759
				11773	7, 7, 7, 7, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10	•			•

青少年健全育成については、伊賀市子ども健全育成条例の中の「輝け!いがつ子憲章」の精神に基づき、家庭・学校・ 第1次再生計画 期間全体を総括 して 間 総 第2次再生計画 (仮称)への課 題、対応につい 間 また、青少年の非行やいじめなどの要因は大人の責任でもあり、家庭の教育力を高める取り組みが必要です。

て

優	先度 糺	坐続 取	組	.28年度施策	評価	シート				
		コード	名称		+D 1//	コード	名称	連絡先		
	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持	すてるまちづくり	担当部署	450600	教育委員会中央公民 館	0595-22-9637		
	施策		公民館活動の活性化と育成			任者·役職名	教育委員会 教育次長			
	再生		参加者、特に中間年齢層(30代~50代) びつけます	の参加について、アン	ケート結果	具等から、ニース	ぐに合った新規教室を開設し、	サークル活動の育		
基本情報	の 視点	・市民	びつけます。 や地域住民が学ぶ機会を身近にできる。	よう情報の収集、発信	機能を充実	星させるとともに	こ、地区公民館の施設整備や、	指導体制の整備を		
本情	(何を、	・市民	☆民館活動の充実を図ります。 センターの自治センター化に伴い、地域	の自治活動の拠点とし	ての機能	を持たせ、各地	!域において自主的な学習活動	めを行えるよう整備		
報	る)	を進め	ます。 館での学習活動への取り組み指導や地	域活動に対する支援の)整理を行	iい、地域ニース	ズに合わせた運営を図ります。			
	の	度化しなる生	境の急速な変化のなかで、精神的な豊 ています。なかでも、活動に参加しづらい 医学習や、コミュニティ活動と生涯学習の さ、情報発信や事業連携などを積極的に	v年代や子育で世代か D連携による事業推進	らは、活動 などが求る	か時間や場所、 かられているた。	子どもとの参加などワークライ め、生涯学習活動の拠点となる	フバランスの一助と		
市	50	0% _		指	地区公民	民館施設利用	100%	+		
市民意識調査結果		0% -		# 標 ◆ H26 成 名	回数(回		80%			
急識	足	0% - 0% -		里 也			60%	── 目標		
譋		0%		指標		動指導者を育	300/			
金 結	(0% L		説		とで、公民館活 E化が図れる。	0%			
果		40%	50% 60% 70% 80% 90% 必要度	明 H2	28目標	5,000	H25H26H27H	H28		
			平成26年度	平成	27年度		平成28年	 度		
			5年度の取組内容と残された課題) 教育法に基づき、各種講座・教室の開	(平成26年度の取組内 【公民館事業経費】	容と残さ	れた課題)	(平成27年度の取組内容 【公民館事業経費】	と残された課題)		
		催を行	ハサークル活動の育成につなげていま				*各地区においてニーズ	こ合った新規教		
		にあり		本化を考えていく必要			室を開設するとともに、サー 成を行い公民館活動の推			
				【分館活動経費】 *上野地区と青山地区の住民自治協議会へ 委託している分館活動のあり方を見直す必要			た。 *それぞれの地区公民館、分館も含めて			
	前年 度の						公民館事業(活動)のあり方を検討する			
	取組			があります。 *地区市民センターの			要があります。 			
	内容と			されており、地域への で、分館規則の廃止と			【分館活動経費】 *分館活動として地域ニ-	-ズに合わせた		
	残された			しての推進を図ってい	きます。		講座開催やサークル活動			
	れた 課題						した。 * 上野地区と青山地区の	住民自治協議会		
							へ委託している分館活動の 必要があります。	のあり方を見直す		
改							2.3.007678			
吾										
改善・取組方向		• 講座	等についてはおおよそ3年で見直しを	【分館活動経費】			【公民館事業経費】			
方		行って	いますが、参加者の状況やニーズを把	*上野地区と青山地区 廃止していく方向の地			*公民館活動が、地域のいく活動支援策を検討しま			
向		,,	, J. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	* 今後、全市的に公見地区市民センターの自	民館活動の)推進施策を		. 9 .		
				合わせて協議を行って			【分館活動経費】 * 地区市民センターの自?	治センター化に向し		
	改善						けて、市長部局と協議を行	い、上野地区と		
	ポイ						青山地区の住民自治協議 る分館活動のあり方を検討			
	ント									
	と 具体									
	的な 取組									
	JX 不且									

(続紙) 施策 5405 公民館活動の活性化と育成 (千円)

(小りじ										(千円)
	No	26 重点	27 重 点	28 重 点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方 向	H28 予算
	01	2	3		公民館管理経費(01-10-05- 05-443-01)	生涯学習活動の拠点施設として、利用しやすく充実した公民館活動やサークル活動の推進を図る。また、併設する上野図書館分館のサービスの充実に努め読書活動を推進する。	18,377	16,265	1	15,031
	02	1	2	2	公民館事業経費(01-10-05- 05-444-51)	・生涯学習の場として、市民ニーズにあった公民館教室を開設。 ・サークル活動等の活動支援及び学習成果の発表の場として、展 覧会、発表会等を開催する。	11,199	10,788	1	9,209
	03	3	1		分館活動経費(01-10-05- 06-446-51)	上野公民館および青山公民館分館における公民館活動経費	9,645	9,645	1	8,681
	04				分館運営管理経費(01-10- 05-06-445-01)	柘植公民館において、地域住民の活動に資するため適切なの施 設管理を行う。	2,083	2,002	1	2,038
構成事										
務事										
構成事務事業の重点化										
点化										
					構成	战事務事業 合計 	41,304	38,700		34,959

第1次再生計画 期間全体を総括 して 公民館事業については新規講座や教室を開催し、市民のニーズに応じた学習内容の充実に努めてきましたが、事業の マンネリ化や地域差、また若年層の参加率の低迷などの課題があります。 公民館のあり方については、合併後も整理されていない状況の中で、分館の廃止に向けて市長部局と協議を行っていますが、未だ検討段階です。 第2次再生計画 (仮称)への課題、対応につい 選別、対応につい では、地区市民センターの自治センター化にあわせ、各地域において自主的な学習活動が行なえるよう整理をし、運営の効率化を図っていきます。